



サバイバルめし作り

西中野小
サマーキャンプ

7月13日(土)
14日(日)



キャンプファイヤー

平成25年
(2013年)

9/1

編集・発行 鷺宮区民活動センター運営委員会

〒165-0032 中野区鷺宮3丁目22番5号 電話3330-4127 FAX3330-4131

[題字は長谷川鼎氏]

[E-mail]nakano_saginomiya@nifty.com

[URL] http://www.nakano-saginomiya.gr.jp/

鷺宮

No. 326

地域ニュース

座談会

自分たちの地域は自分たちで守る

鷺宮地域の防犯活動

【出席者】

- 相原 一義 若宮一丁目町会防犯パトロール隊
- 宮邊 榮子、佐々木 ヨシ子 若宮三丁目町会地域安全パトロール隊
- 関根 仁美 鷺宮都営住宅自治会
- 中田 あき子 青少年育成鷺宮地区委員会、鷺宮三丁目町会
- 澤村 美和子 青少年育成鷺宮地区委員会
- 関 明美 鷺宮小学校PTA
- 【司会】 国定 明美 鷺宮区民活動センター運営委員会 広報部長

防犯活動の状況

司会 日頃、鷺宮地域では多くの団体が防犯活動を行っていますが、その中の6団体の方にお集まりいただき、情報交換をしたいと思えます。まず、各団体の防犯活動を紹介ください。

相原 6年前に3、4人の有志で始め、今は18人になりました。月2回、午後パトロールしています。夏は夜間もやります。10月からは見守り活動を始める予定です。

宮邊 平成13年3月に地域安全パトロール隊が発足しました。たすきは手作りしました。商店街の18人と町会からのパトロール隊を合わせて70人以上でした。立て看板も38本作りました。現在は59人です。商店街の方は夜間パトロールもしています。

関根 防犯パトロールは役員会終了後の午後9時から、二手に分かれてやっています。12階の屋上は、鍵がかかっています。

ないので、隣の建物から確認しています。また普段から、住民一人ひとりがパトロール隊という意識を持ち、地域を見守っていただいています。

建て替え工事中は工事車両が危険なので昼間のパトロールは行っていませんが、工事終了後には行いたいと思います。長寿会の方々にも、ゴミ拾いとパトロールをしていただいています。

中田 地区委員会は月2回、午後4時から環境部が道路清掃を兼ねてパトロールしています。8月24日、25日の鷺宮八幡神社の祭礼でもパトロールを行います。公園なども見えています。

鷺宮三丁目町会のパトロール隊は3年一期で、10月で四期目になります。以前は有志が行っていましたが、できない人が増えてきているので、毎期募集しています。地域が広いので、東と西に分け、不定期で月に3回パトロールしています。夜は拍子木を鳴らしながら行きます。

関 鷺宮小学校は、登校時の見守りをしています。危ないこと



参加者の皆さま

はないか確認していますが、工事車両やスピードを出している自転車が多く、注意を払っています。全家庭で担当しています。その他に、鷺宮の盆踊りではパトロールを行っています。

楽しくパトロール 司会 パトロールや防犯活動をして、良かったことや大変なこととはありますか。

相原 パトロールは原則雨天中止にしていますが、小雨の時に行きます。楽しく行っているのですが、負担ではありません。地域や道路も覚えるし、どうい

方が住んでいるのかわかるのもいいですね。

中田 パトロール隊が高齢化してきたのが問題なので、若い方に入ってもらおうようにしています。

関根 以前敷地内で騒いでいた子どもたちが騒がなくなり、苦情が減りました。パトロールをきちんとしてくれているということ、知られてきたおかげだと思います。

中田 地区委員会は、楽しくおしゃべりしながら行っているのが、いいと思います。

澤村 町会・自治会は防犯、PTAと地区委員会は子どもの見守り、という違いはありますが、気持ちちは同じです。地区委員会



活発な意見交換ができました

のパトロールは自分の近隣だけでなく、他の地域を知ることにつながっています。

地域の目は抑止力 司会 なにか気を付けていることはありますか。

相原 パトロールは具体的な成果が出るものではありませんが、間接的な防犯として抑止力になります。地域に人の目がある、ということだけでもいい。続けることが大事です。

司会 声掛けや挨拶することも大事ですね。

関根 大人から声掛けするのはいいことですね。パトロールの服装をしていると、声を掛けやすいです。

相原 防犯活動は地道でいいと思います。ただ、自分自身がケガや、交通事故に遭わないことが大事です。

司会 ありがとうございます。

昔はよかった」とか…

明石 浩一

「あの頃は面白かったよな」昭和30年前後に少年時代を過ごした昔の仲間たちに出会うと、必ず出てくる会話です。妙正寺川でザリガニやたなごを捕ったり、田んぼではげんころうやミススマシ、神社では木々に蝉、床下には蟻地獄、花に寄る蝶やミツバチ、若宮小学校で山羊、りす、あひるに見入ったり、夏の夜は屋上で天体観測、校庭で野外映画鑑賞、冬の校庭では雪合戦や第二校庭坂のそり滑り、林間学校や臨海学校の懐古話。さらには、当時の先生や記憶に残る近隣のおじさん、おばさんの話と、話題は尽きることなく出てきます。

ちよつとした危険、わくわくの冒険心、優しさやいたわり、悔しさや達成感、滑ったり転んだり、泣いたり笑ったり、子どもを取り巻くあらゆるものが、学校の勉強以上にいろんなことを教え、育んでくれました。あれから50余年、時代も環境も人の意識や嗜好も変わってきました。近年、子どもはしゃぎ声や飛び回る姿を見ることは日常的ではなくなりましたし、一方で子どもにかかわる犯罪のニュースも多々、さて我々は今の子どもたちに何をすれば、どんな姿を見せていけば、彼らが年月を経て昔を思うときに「昔はよかった、面白かった」と言ってもらえるだろうか。昔の仲間たちとの楽しい時間の後、ふとそんな思いが心をよぎります。

(若宮小学校 六回生)

